

Mizuho Daily Market Report

2024/4/11

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	151.83	153.16	+1.40	+1.46
EUR	1.0856	1.0743	▲0.0114	▲0.0093
AUD	0.6626	0.6512	▲0.0117	▲0.0053
SGD	1.3446	1.3538	+0.0090	+0.0057
CNY	7.2327	7.2343	+0.0020	+0.0011
MYR	4.7502	4.7478	+0.0000	▲0.0082
THB	36.32	36.37	+0.00	▲0.34
IDR	15869	15845	+0	▲75
PHP	56.22	56.49	+0.00	+0.04
INR	83.17	83.19	▲0.12	▲0.24
VND	24950	24946	▲24	▲51

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.544%	+18.2 bp	+19.6 bp
日本(10年)	0.806%	+0.6 bp	+1.0 bp
ユーロ圏(10年)	2.435%	+6.4 bp	+4.0 bp
オーストラリア(5年)	3.763%	▲3.7 bp	▲1.6 bp
シンガポール(5年)	3.184%	+0.0 bp	+5.3 bp
中国(5年)	2.149%	▲0.5 bp	▲2.8 bp
マレーシア(5年)	3.699%	+0.0 bp	+2.8 bp
タイ(5年)	2.323%	+3.2 bp	+5.8 bp
インドネシア(5年)	6.579%	+0.0 bp	▲1.9 bp
フィリピン(5年)	6.325%	+0.0 bp	+13.6 bp
インド(5年)	7.083%	▲4.3 bp	▲0.6 bp
ベトナム(5年)	2.140%	▲8.0 bp	▲5.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,461.51	▲1.1%	▲1.7%
N225(日本)	39,581.81	▲0.5%	+0.3%
STOXX50(ユーロ圏)	5,000.83	+0.2%	▲1.3%
ASX(オーストラリア)	4,339.84	+0.3%	+0.3%
FTSTI(シンガポール)	3,237.52	+0.0%	+0.5%
SSEC(中国)	3,027.34	▲0.7%	▲1.4%
SENSEX(インド)	75,038.15	+0.5%	+1.6%
JKSE(インドネシア)	7,286.88	+0.0%	+1.7%
KLSE(マレーシア)	1,553.51	+0.0%	+1.1%
PSE(フィリピン)	6,741.07	+0.0%	▲1.8%
SETI(タイ)	1,408.17	+0.5%	+2.4%
VNINDEX(ベトナム)	1,258.56	▲0.3%	▲1.0%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
ORB	297.86	+0.4%	+0.9%
金	2,334.04	▲0.8%	+1.5%
原油(WTI)	86.21	+1.1%	+0.9%
銅	9,240.45	▲0.5%	+1.0%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	151.60	—	153.40
EUR/USD	1.0640	—	1.0950
AUD/USD	0.6390	—	0.6690
USD/SGD	1.3400	—	1.3580
USD/CNY	7.2050	—	7.2680
USD/INR	4.6460	—	4.8050
USD/THB	35.90	—	36.98
USD/IDR	15580	—	15950
USD/PHP	55.00	—	56.80
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	24,600	—	25,100

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は151円後半でオープン。仲値にかけては5・10日に伴う実需の売り買いが交錯するも、海外時間に公表される米3月CPIの結果を控えて様子見ムードの中、方向感はず。狭い値幅での推移となった。アジア通貨についてはドル円相場と同様に米CPIの結果を控える中、小幅な値動きに終始。昨日はタイの金融政策委員会が開催されたが、3会合連続で政策金利据え置きを決定。

海外市場のドル円は151円後半でスタート。NY時間朝方に発表された注目の米3月CPIとコアCPI(共に前月比)が予想を上回り、米インフレが依然根強い結果となる。この結果を受けて、米当局による利下げ時期が後ずれする可能性が高いとの思惑から、発表後は買いが優勢となり、152円半ば付近まで急伸。その後も米長期金利が大台の4.50%を超える展開を背景に、ドル買いの流れが継続。午後は低調な米10年債の入札結果を受け、米金利が一段と上昇する中、ドル円も153円付近まで上昇。しかし、その後は伸び悩み、一時151円前半まで反落。続いて発表された米3月FOMC議事録では「当局者は利下げの前にインフレに対するさらなる確信を求める」等との文言が示されたことから、米金利の再度上昇共に反発。終盤は年初来高値の153円を突破し、結局153円前半でクローズ。

【金利】

金利市場は、大幅上昇。中期ゾーンで特に上昇し、イールドカーブはややフラット化。注目されていた3月CPI(消費者物価指数)が前年比で、3.5%となり、前回・予想とも上回るなど、強い結果となったことで、発表後に金利は大幅上昇となった。この結果を受け、6月のFOMCでの利下げ確率が低下し、今年の利下げ回数(25bps/回)も3回から2回になるのではとの見方も出始めている。

【予想】

本日のドル円相場は政府・日銀による為替介入が実施されるか否かに注目が必要。米3月CPIの結果を受け、ドル円相場は直近抵抗線となっていた152円を突き抜け約34年ぶり高値を更新。先週発表の米3月雇用統計も力強い結果であったことからFRBの利下げ観測が後退している状況下、口先介入に留まる場合は一段と円安が進む可能性も視野に入れたい。

【本日の予定】

(日本) 3月 マネーストックM2、M3
(日本) 国債入札(20Y)
(アジア) 3月 中国 CPI / PPI
(アジア) 休場 マレーシア、インドネシア、インド
(欧州) 2月 独 経常収支
(欧州) ECB政策理事会
(欧州) ユーロ圏財務相会合(ルクセンブルク)
(欧州) ラガルドECB総裁会見
(米国) 3月 PPI
(米国) ウィリアムズ・NY連銀総裁講演
(米国) コンス・ボストン連銀総裁講演
(米国) ホスティック・アトランタ連銀総裁講演
(米国) 国債入札(30Y)
(米国) 岸田首相が米議会上下両院合同会議で演説(ワシントン)
(米国) 新規失業保険申請件数
(米国) 日米フィリピン首脳会談(ワシントン)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。